

日本モスリン会社争キ (滝ノ川支部)

六月

原因……深夜業廃止後の条件として労働争議の全廃。男工の十一時間労働。を要求。依つて支部員四百名在従業員職場大会を開いて黙々と請願書提出を催し。労働争議を早願し支給を獲得し。六月十六日有利解決。

栗原紡績争キ

六月

原因……本所新設の右会社に支部組織運動が着々進み支部委員会発行の使取りとなつたので会社は驚き五月十日組合幹部八名を解雇す。依つて解雇反対深夜業廃止に對する生活保証等を提さげて交渉戦に入る。会社は官憲と暴力団を以つて強圧。六月六日解雇者に對する解雇手当を以つて解決す。

中山共立モス争キ

(中山支部)

六月

原因……深夜業廃止を前にして紡績支部の組織運動が拡大したの六月十九日組合幹部七名の解雇を以つて圧迫に来る。依つて六月三十日中山支部委員会を呼び掛け解雇反対。深夜業廃止後の生活保証。償銀値上。其の他四ヶ条要求を提出して早小中山支部は争中。田本部長を設け関東各支部の応援を得て持久戦を打ち出し。大示威運動を実施。八月六日未明鹿校園の依蔵。越中。菊池。氏外二名の請願が会社に入り流血の大乱手を惹起せる事件あり。八月二十日中山町長。市川警察署長。の調停にて解雇手当及び争費甲を以つて有利解決。

萩原製紙工場争キ

(木庄支部)

七月

原因……支配人及び見番を排斥して七月二十四日ヨリストライキ決行。七月二十五日争費支給。争費甲金一封。罷業中の日給全額支給大勝利解決。参加人員。ヤエ。九〇。男工。五〇。

岸和田紡績春木工場の争キ

七月

原因……徳同盟と旧評代会との対立工場。深夜業廃止に對して待遇改善運動。七月二十五日。數百名が労働組合を脱しストライキ決行。七月廿五日午後二時解決。解決……株主大勝利(労働大勝利。五ヶ条要求五ヶ条承認)

相本染工場の交渉戦 (柳東第二支部)

九月

九月十二日支部委員会開議。九月四ヶ条の要求提出。(1)残業の歩合改正。(2)食費改善。(3)定額支給。(4)労働争議支給。(5)組合員福利。相之中の及び田を維持。(6)及(7)職園有利解決。九月下旬臨時支部の要求をなし。長信五分。要求二十ヶ条。要求を維持。